



鹿島学園高等学校サポート校  
 KG 高等学院 練馬キャンパス  
 キャンパス長 中里千恵さん

## 子育てで悩んだ経験が今の仕事の原動力に

私は前職で学習塾の開発営業をしていたのですが、当時高校生だった自分の子どもが不登校になり高校を中退してしまいました。悩んでいたところ、たまたま勤めていた会社が通信制サポート校の運営をしていて、会社に相談して転学させてもらうことになりました。

自身の子育てで経験をきっかけに教育の道へ  
 在籍する生徒の通う理由は、不登校や学習障害、大人数が苦手、スポーツや芸能活動など自分のやりたいことに時間をかけた、自分のペースで学びたい等、様々です。また、コロナ禍の影響で学校に通えない子どもも増えていて、生徒は年々増加しています。

「学校に通えない子ども」が増えている  
 KG 高等学院は茨城県鹿嶋市にある私立高校、鹿島学園を母体にした通信制高校です。練馬キャンパスは2014年に開校して、今年で7年目。初年度の卒業生は2人だけでしたが、ここ5年は毎年20〜25人の生徒が卒業しています。



▲高校生を応援する企業によるキャリア研修の様子。協力企業(株)パセリ。



▲スポーツ大会では、巨大なボールを床に落とさないよう、チームで協力し合う競技「キンボール」に挑戦。

本校は通信制高校ですが、登校することを重視しています。今の子どもたちは親以外の大人と接する機会がすくなく少ないんです。だから、親の価値観をそのまま受け継いでしまうことも少なくありません。子ども達には多くの大人たちと接する機会を作ること、で「世界は広い、そして色々な考え方がある」ということを知って欲しい。そのため練馬キャンパスでは「体験する学び」に力を入れています。また、地域のボランティアや課外学習、外部講師を招いたレクチャーもあります。コロナ前は企業訪問も行っていました。

15歳〜74歳！多様な生徒たちの学び舎  
 KG 高等学院練馬キャンパスには普通科のほか、大人向けのコースもあります。これまでの生徒の最高齢は74歳！「家の事情で高校を中退した事が人生でやり残したことだった」とおっしゃっていて、見事卒業されました。私たちも感動しましたし、今も生徒たちへの話を伝えています。

制高校を運営してみませんか？というお話をいただきました。  
 キャンパスの立地を決めるときには、前職で培った地域調査のスキル（子どもの人数や学校の数などの分析）が役立ちました。通信教育は生徒の家に近い学校が好まれる傾向があります。練馬駅は好条件でした。

鹿島学園高等学校サポート校  
 KG 高等学院 練馬キャンパス

練馬区豊玉北5-14-2 永井ビル2F  
 電話：03-6914-7191  
<https://kg-school.com>

▲特別活動 ボードゲーム  
 ボードゲームは考える力、想像する力、そして自分と人の考えは違うんだということを遊びながら学べます。

誰かが背中を押してくれるのを待っている  
 多くの通信制高校は「卒業」を目標にしています。私自身を振り返っても、自分の子どもには「高校だけは卒業して欲しい」と切実に思っていました。だけど人生は、卒業してからのほうが長いんです。実際、卒業しても行くあてのない若者がたくさんいて、誰かがほんの少し背中を押してくれるのを待っています。そんな子ども達のために、色々な企業や専門家、地域の方々と連携していきたいと思っています。  
 今は通信制高校の枠を超えて卒業後の就労支援まで含めたワンストップ事業を計画中です。